

第3回高度実践看護師活動・活用フォーラム

地域医療連携の時代にAPN活用の グッド・プラクティスを求めて

2025年2月2日(日) 13:30-17:00
リアルタイムオンライン開催

パネルディスカッション 13:35-15:55

- ★当院における専門性の高い看護人材の活用の歴史と今後の課題
- ★当院における高度実践看護師による看護外来の開設の経緯と今後の課題
- ★地域医療連携の時代における高度実践看護師への期待
- ★地域医療連携の時代における高度実践看護師活用のための職場環境の創出
- ★組織ニーズに応えるために高度実践看護師として行っていること

指定討論 15:55-16:05

交流 16:15-16:55

当協議会の会員は無料 非会員は3千円
入会前提無料チケットあり

<https://apnforum3.peatix.com/view>



お申込み

九州・沖縄高度実践看護師活動送信協議会 看護管理担当代議員会

パネルディスカッション

座長 松枝美智子(星槎大学大学院 教授 当協議会代表兼理事)
植村美紀((株)夢 代表取締役 当協議会看護管理担当代議員)
☆日本赤十字社福岡赤十字病院 看護部長 佐藤章子様

☆聖マリア病院 副院長兼看護部長 神代明美様
(認定看護管理者 当協議会看護管理担当理事)

☆聖マリ病院副院長、聖マリア研究センターセンター長 福田賢治先生
(脳血管内科医師)

☆ありまこうげんグループ 理事長 鈴木 実様

指定討論

☆佐賀大学医学部附属病院 精神看護専門看護師
倉持裕子様(当協議会看護管理担当 顧問)

交流

司会 池田大輔(医療法人コミュノテ風と虹 のぞえ総合心療病院
統括師長 当協議会看護管理担当代議員)

開催の主旨

APNは世界的に費用対効果の高い人材として認識されている。しかし日本のように国からの認証がない状況で高度実践看護師を組織に導入し「組織発展」(鶴田,2006)に繋げるには、組織ニーズの明確化に加えて多くの課題が存在する。また当の高度実践看護師にとっても、組織ニーズに合わせていかに役割開発を行い組織に欠かせない人材に成長するのは並大抵のことではない。

欧米では高度実践看護師を国の保健政策や医療機関等の組織に導入する場合のモデルや役割開発のモデルが提案されているが、日本ではまだそのようなモデルは存在せず、各組織や高度実践看護師自身が暗中模索しているのが現実ではないだろうか？

第3回フォーラムではこのような背景から、日本における高度実践看護師の活用のグッド・プラクティスを共有し、活用や活動についての実践知を深めたいと考え、本フォーラムを企画した。多くの看護管理者・ゼネラリスト・高度実践看護師の皆様の御参加を宜しく願います。

当協議会のホームページ

<https://www.apnsince20210328.com/>

九州・沖縄高度実践看護師活動送信協議会

